

新北西太平洋鯨類科学調査計画案の概要について

1. 調査の名称

新北西太平洋鯨類科学調査計画 ニューレップ・エヌピー NEWREP-NP:
New Scientific Whale Research Program in the
western North Pacific

2. 調査の目的

(1) 日本沿岸域におけるミンククジラのより精緻な捕獲
枠算出

(既に国際捕鯨委員会 (IWC) 科学委員会で算出済みの捕
獲枠を精緻化)

(2) 沖合におけるイワシクジラの妥当な捕獲枠算出

(これまで IWC 科学委員会で捕獲枠を算出していない)

※将来の捕獲枠算出に当たっては改訂管理方式 (商業捕鯨のための持
続的な捕獲量を算出する手法) を使用予定

3. 調査の実施海域

別紙参照

4. 調査期間

12年間

(2017年度～2028年度、調査開始から6年後に中間
評価を実施)

5. 調査内容

(1) 捕獲調査

① ミンククジラの捕獲調査（沿岸域、沖合域）

沿岸域の目標捕獲頭数/年：47 頭（網走沿岸域）（当初 6 年間。後半 6 年間は前半期の結果を踏まえて再計算。）

100 頭（太平洋側沿岸域）

沖合域の目標捕獲頭数/年：27 頭

② イワシクジラの捕獲調査（沖合域）

目標捕獲頭数/年：140 頭

(2) 非致死的調査（調査海域全域）

- ・ 資源量推定のための目視調査
- ・ 系群構造の解明等のためのバイオプシー（皮膚標本）の採取
- ・ 移動を追跡するための衛星標識の装着の試行的実施
- ・ バイオプシーから抽出した DNA の分析による年齢推定方法（耳垢栓の分析の代替手法）の実行可能性・有用性の検証等

6. 使用調査船

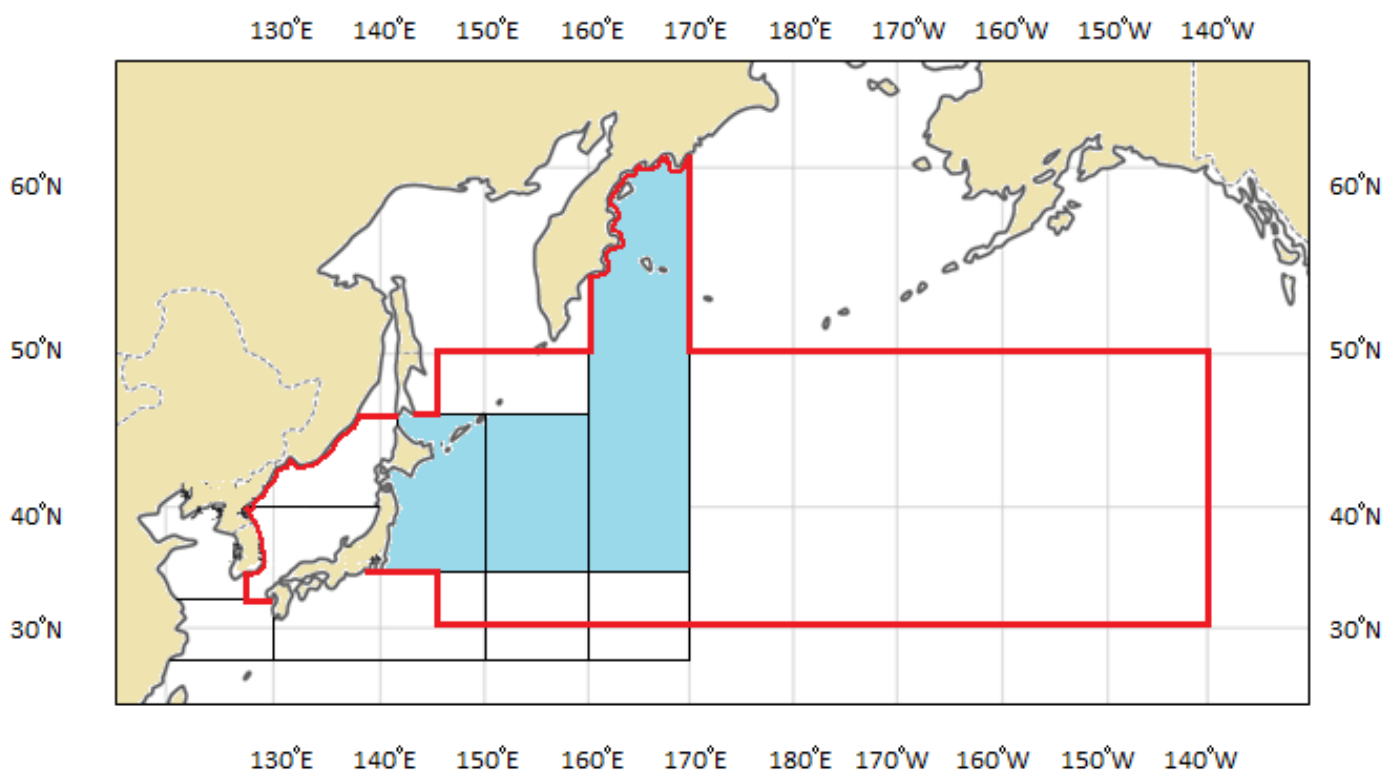
沿岸域：沿岸小型捕鯨船最大 5 隻

沖合域：母船 1 隻、採集船・目視船 2 隻ずつ

7. 他の調査機関との連携

- 外国人科学者の参加
- 国内外の調査機関との連携
- IWC / 日本共同北太平洋鯨類目視調査（IWC-POWER）等の関係する調査プログラムとの連携

新北西太平洋鯨類科学調査計画 (NEWREP-NP) 調査実施海域



捕獲調査海域: 上図の水色の海域
非致死的調査海域: 上図の赤枠の海域

(ただし、我が国領海・排他的経済水域及び公海のみ)